

令和4年度市全体の店舗調査集計結果の概要と考察

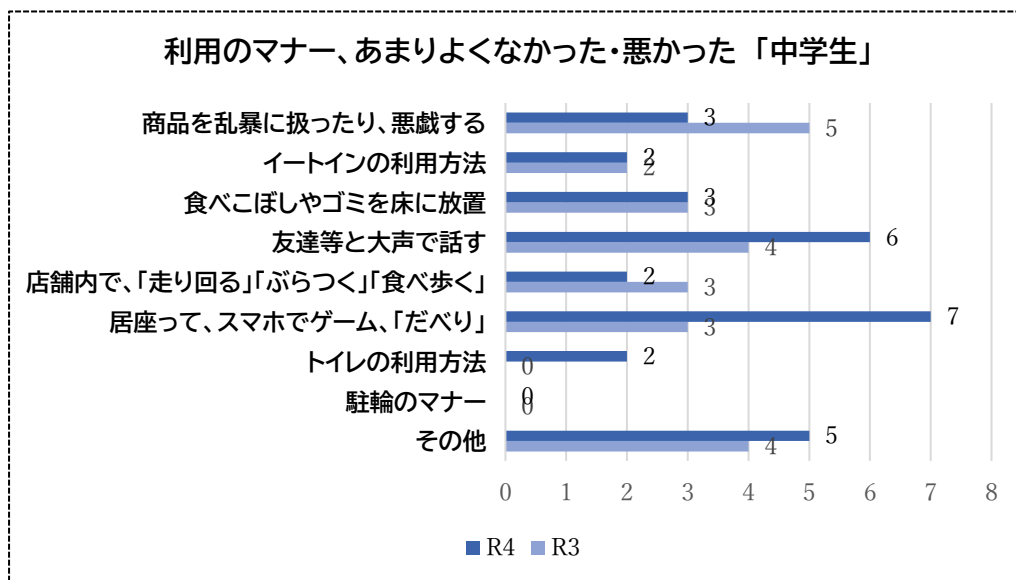
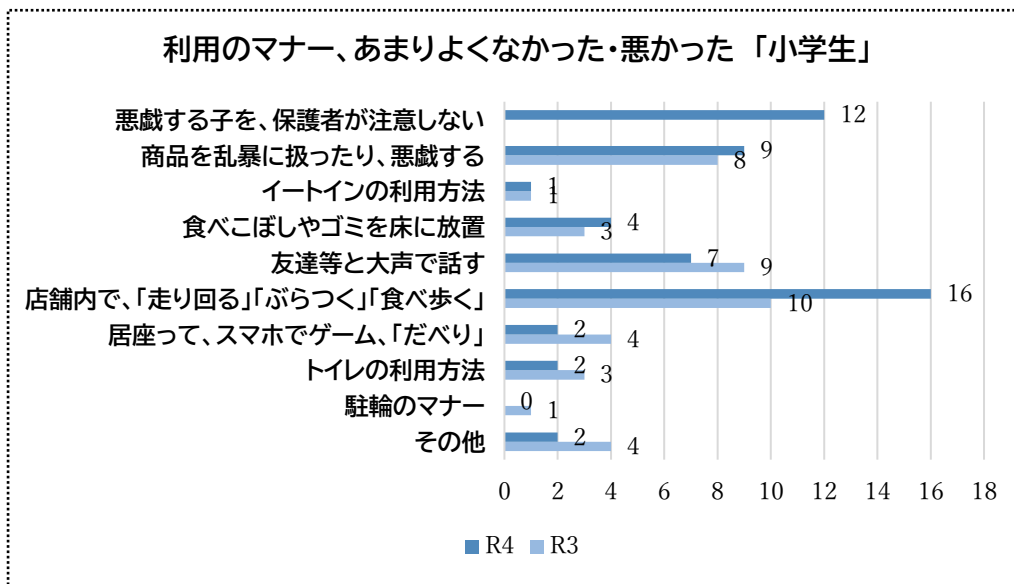
★調査協力店舗数 計 109店舗

★地区別調査店舗数

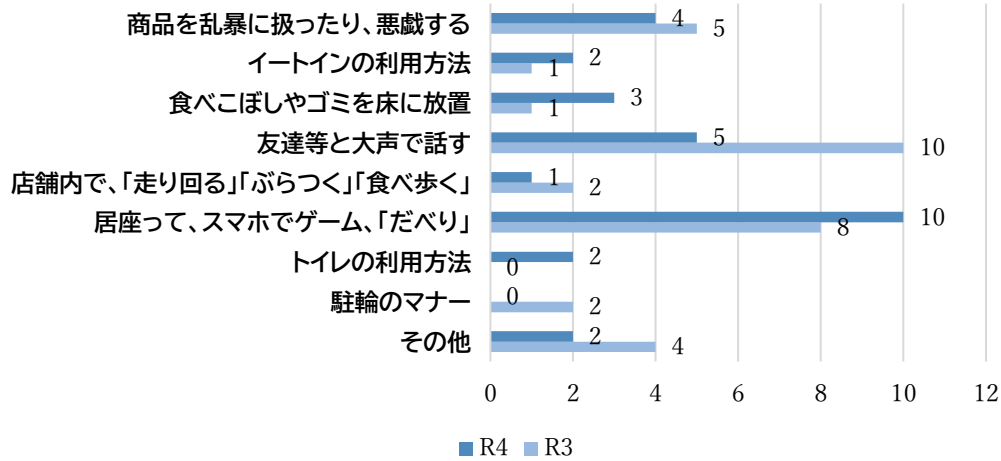
地区名	調査店舗数	地区名	調査店舗数
南流山	17	北 部	13
南 部	12	常盤松	9
東 部	9	西初石	8
八 木	10	おおたか・おおぐろ	21
東深井	10		

■調査結果の現状について

①※全て上がR4 年度



利用のマナー、あまりよくなかった・悪かった「高校生」

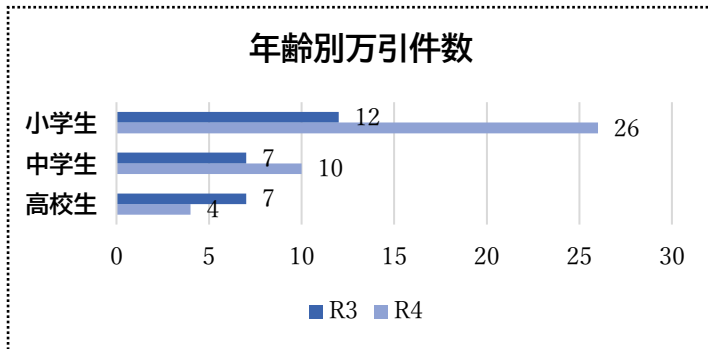


昨年度に引き続き、全体的に小学生のマナーについて課題があることがわかります。マナーに関することは、幼少期に大人がしっかり教えていくことが大切であることが言えます。また、子どものころにきちんと規範意識を育てることは、将来の非行や犯罪への防止策となります。

調査項目の内容は、いいか悪いかの判断＝他を思いやる心、と言い換えることもできるのではないのでしょうか。自分の行動が人に迷惑をかけないかどうか。そういったことを考えられる子どもは、きちんとした大人に成長できると思います。

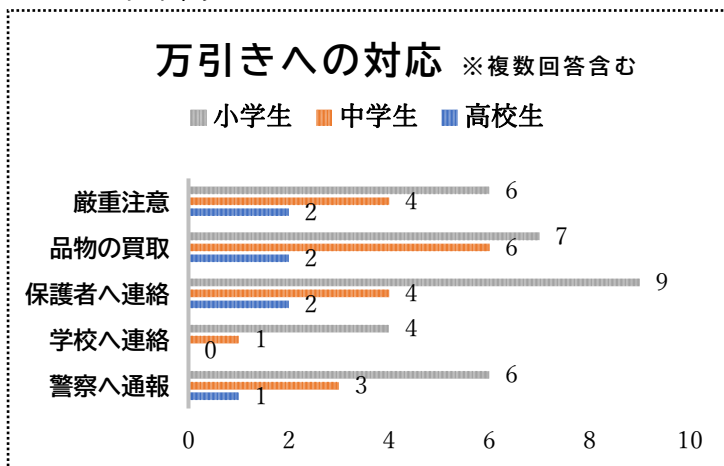
また、聞き取り調査の中で、「子どもたちが(自分の)過ちに気づける対応」をしているというコメントをいただいた店舗がありました。「なぜいけないのか。」のきちんとした理由を、子どもたちに関わる大人が正しく教えていかなければいけないと、改めて思いました。

②※上がR3年度



② 昨年度は26件でしたが、今年度は40件と大幅に増加しました。小学生が多い傾向は変わりません。幼少期など早い段階で、子どもたちの規範意識の育成が必要です。

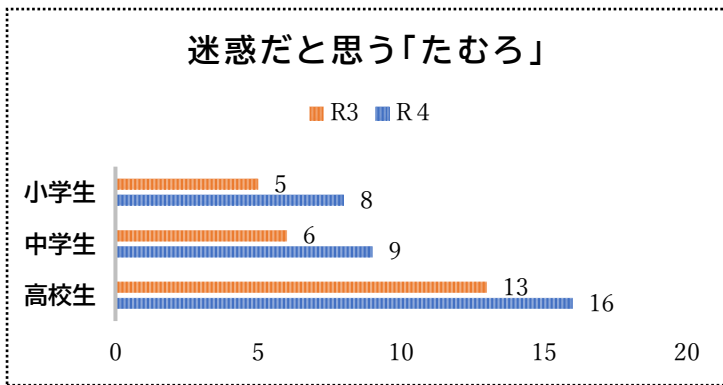
③※上から小中高



③ 万引きへの対応は、昨年度に引き続き、基本的に保護者連絡・品物の買取となっています。また、聞き取りから、万引きの常習化が懸念される実態が見受けられます。

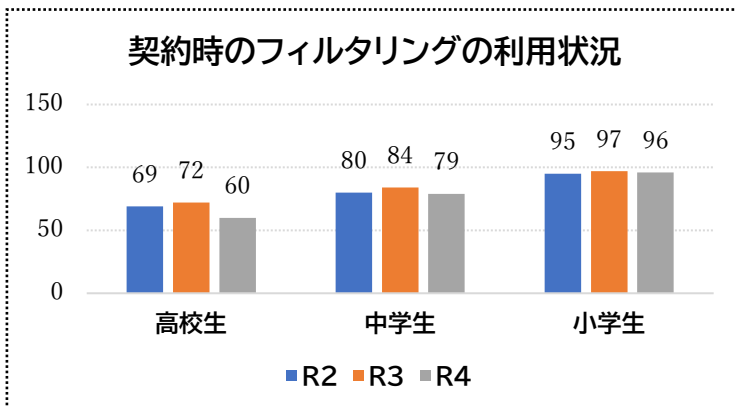
保護者が一義的責任者として、家庭で十分に指導し、再犯を防止することが大切です。

④※上が R3 年度



④昨年度から、全ての校種で増加しました。行動制限の緩和等も一因と考えられますが、店舗の方たちは長時間の居座りや、「たむろ」しているときに飲食し、そのごみを放置していることなどに困り感をもっています。一つのマナーとして、子どもたちに教えていけたらと思います。

⑤※左から R2 年度



⑤フィルタリングの利用状況は、昨年度に比べて、どの年齢も低下しています。特に気になる点は、中学生の79%という状況です。フィルタリングは有害サイト等の閲覧を制限することで子どもたちを守るものです。今年度、携帯会社店の聞取りの中で、「中学生の課金トラブルが増加している」という内容がありました。直接的な関係性は調査ではわかりませんが、注意すべき点だと考えられます。

今年度も多くの店舗にご協力いただき、子どもたちの家庭や学校外での姿の一端を知ることができました。全体を通じて感じるのは、年々、聞取り調査に具体的に答えていただいている店舗が増加しているということです。これはもちろん、実行委員の方々の丁寧な聞取りの結果といえます。

その中で、来店する子どもたちに心配な様子があれば、積極的に声をかけたり、学校やご家庭に相談されたりしている店舗もあります。特に、万引きへの対応と高校生のたばこの購入への対応について複数ありました。各店舗は地域の一員です。今後も調査を通して、情報共有しながら、互いに良好な関係づくりをしていくことが大切だと思います。

市全体の調査結果についてまとめました。各地区の詳細に関しては、今後、流山市のホームページで公開する予定です。